



1

ナデガタインスタントパーティ
(中崎透 + 山城大督 + 野田智子)

平野真美

松本和子

宮田篤 + 笹萌恵



2



3



4

f
l

ush

S
e
C
O
n
d

セカンド・フラッシュ

2019.11/3 (日・祝) — 2020.1/5 (日)
10:00 - 18:00 (入場は 17:30 まで)

会場：岐阜県美術館 展示室 3 ほか

休館日：月曜日(祝・休日の場合は翌平日)、12/23(月) - 1/3(金)

夜間開館日：11/15(金)、12/20(金)は 20:00 まで開館(入場は 19:30 まで)

入場無料

セカンド・フラッシュ

岐阜県美術館は、リニューアル休館を機に、館を飛び出してアートプロジェクトやアーティストインレジデンスに取り組みました。今回、その経験や作品を糧として、葉が生い育ち、香り立つように、4組の作家が美術館で発表をします。

今、多様な人々が生きる社会の拠点として、美術館の果たす役割はますます大きくなっています。アートとは、未来を予見し、問題提起をするもの。そしてまた、人々や価値観を繋ぎ、場をつくることもできます。休館中に試みた新しいアートプロジェクトやレジデンスが「ファースト・フラッシュ」だとすると、本展「セカンド・フラッシュ」は、サイトスペシフィックな表現を美術館でいかに結晶化するかの挑戦であり、あの特別な出来事を分かち合いたいという願いでもあります。時間と共に熟成し、収穫された「セカンド・フラッシュ」が醸し出す味わいをどうぞお楽しみ下さい。

ナデガタインスタントパーティ × 養老公園

(中崎透 + 山城大督 + 野田智子)

Nadegata Instant Party (NAKAZAKI Tohru + YAMASHIRO Daisuke + NODA Tomoko)



1



2

2006年より活動を開始。「場」が変化する過程や体験を重視し、映像や演劇的手法などを組み合わせる作品で高く評価される。「アートまるケット2018 養老公園プロジェクト Parking Promenade」(2018)では、《養老天命反転地》を引用し、野外プロジェクトの可能性を示した。本展では、その解放感と機知溢れる体験型作品を、美術館の展示室に凝縮する。

平野真美 × 岐阜盲学校

HIRANO Mami



3

1989年生 岐阜県出身。ユニコーンの骨格・内臓から毛皮まで、身体を構成するあらゆる部位を精巧につくり、生命維持装置をつなぎ蘇生を目指す作品をライフワークとする。「アーティスト・イン・ミュージアム 平野真美 Meets 岐阜県立岐阜盲学校」(2018)での視覚を巡る思索を、新作の半立体タピスリー、ユニコーンや盲学校の生徒作品を使いながら探求する。



4

松本和子 × 北方町生涯学習センターきらり

MATSUMOTO Kazuko



5

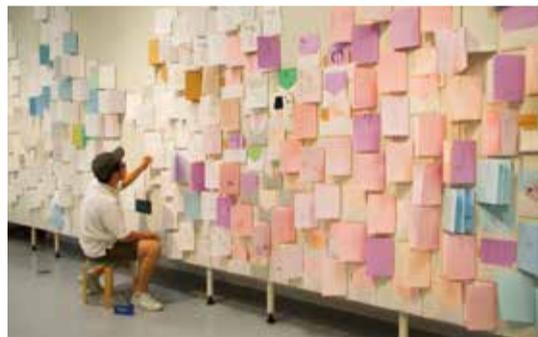


6

1988年生 大阪府出身。水や砂や石灰といった自然素材を使うフレスコ技法を用いて、きらめく光や吹き抜ける風、人の気配が漂う室内風景を独特の詩情で描く。「アーティスト・イン・ミュージアム 松本和子 Meets 北方町生涯学習センターきらり」(2019)で制作した壁画をもとに、表層を剥ぎ取るストラップ技法を応用し、重層的な空間表現を試みる。

宮田篤 + 笹萌恵 × 岐阜県図書館

MIYATA Atsushi + SASA Moe



7

2009年より活動を始める。お話の続きを地域住民と相談する連載マンガなど、“仕組みや仕掛け”によって生じる他者とのイメージのずれや重なりを作品のきっかけとしている。「アーティスト・イン・ミュージアム 宮田篤 + 笹萌恵 Meets 岐阜県図書館」(2019)から連続する本展では、言葉のイメージが変容していく《微分帖》を、時間・空間的にひろげるやりとりを企む。



8

1.2.「アートまるケット2018 Nadegata Instant Party 養老公園プロジェクト パーキング・プロムナード / Parking Promenade」(2018)
3.4.「アーティスト・イン・ミュージアム 平野真美 Meets 岐阜県立岐阜盲学校」(2018) 3はワークショップ、4は生徒との合同作品
5.6.「アーティスト・イン・ミュージアム 松本和子 Meets 北方町生涯学習センターきらり」(2019)
7.8.「アーティスト・イン・ミュージアム 宮田篤 + 笹萌恵 Meets 岐阜県図書館」(2019)

セカンド・フラッシュ

2019.11/3 (日・祝) — 2020.1/5 (日)
10:00 - 18:00 (入場は17:30まで)

会場：岐阜県美術館 展示室3ほか

休館日：月曜日(祝・休日の場合は翌平日)、12/23(月) - 1/3(金)

夜間開館日：11/15(金)、12/20(金)は20:00まで開館(入場は19:30まで)

入場無料



1. ナデガタインスタントパーティ (中崎透 + 山城大壽 + 野田智子) 2. 平野真美 3. 宮田篤 + 笹萌恵 (微分帖/レゾナン/ハ/ヒ/ズ/ス/エ/は/ム, 愛知芸術文化センター, 2013) 4. 松本和子

セカンド・フラッシュ

Second flush/flash

セカンド・フラッシュ [second flush] は、紅茶の収穫期を表す言葉です。瑞々しくさわやかなファースト・フラッシュの次に摘まれ、芳醇で豊かな味わいが特徴です。flushとは、「芽吹き」。本展では、作品の輝きや地域の光をイメージさせる「閃光、ひらめき」のflashと音を重ねています。

関連プログラム

- 1 出品作家4組のリレートーク**
 11/3(日・祝) 13:00 - 14:00
 会場：展示室3ほか
 リニューアルオープンイベント「楽美初日」と併せてお楽しみください。
- 2 アートまるケット「岐阜の食でおいしさまるケ」再び！ フードショップ特別出店**
 11/3(日・祝) 10:00 - (売り切れ次第終了)
 会場：多目的ホール
 企画：岐阜県美術館後援会
- 3 カジュアルトーク 松本和子 × 北方町の方々**
 11/4(月・振休) 14:00 - 15:00
 会場：多目的ホール
- 4 紅茶を楽しむTea Party！ワークショップ**
 11/23(土・祝) 14:00 - 16:00
 会場：多目的ホール
 講師：西願将也 (annon tea house)
 定員：12人 参加費：1,800円
 様々なフレーバーの香りと味から、作品のイメージに合うあなただけの紅茶を見つけましょう。
 申込方法：岐阜県美術館Webサイトから申込み。
 11/8(金)締切。申込み多数の場合は抽選。
- 5 ギャラリートーク 担当学芸員とっしょにセカンド・フラッシュ(展)を味わおう！**
 12/20(金) 18:30 - 19:00
 会場：展示室3ほか
 岐阜県美術館学芸員：鳥羽都子
- 6 カジュアルトーク Nadegata Instant Party × 平林恵(横尾忠則現代美術館学芸員)、福井清治(養老町立上多度小学校校長)**
 12/21(土) 14:00 - 15:30
 会場：多目的ホール
- 7 平野真美 × ナンヤローネ アートツアー**
 12/22(日) 14:00 - 15:30(受付13:30 -)
 集合：多目的ホール
 視覚に頼らない鑑賞体験ができるプログラム。
- 8 宮田篤 + 笹萌恵 おはなしあそび 微分帖**
 2020年1/4(土) 13:30 - 15:30
 会場：展示会場
 参加費、事前申込み不要。時間内入退自由。作家と実際に微分帖で遊べます。

主催・お問い合わせ



岐阜市宇佐4-1-22 Tel. 058-271-1313 Fax 058-271-1315 <https://www.kenbi.pref.gifu.lg.jp>
 @gifukenbi www.facebook.com/gifukenbi.jp

- Access
- 公共交通機関で
 - JR東海道本線 西岐阜駅 南口から徒歩(約15分)
 - 岐阜バス(鏡島市橋線) JR岐阜駅前[6番乗場]または名鉄岐阜駅前[1番乗場]から「市橋」行きに乗車(約15分)「県美術館」下車
 - 西ぎふ・くるくるバス[大人100円、小学生50円/1日7便、復路約30分] JR西岐阜駅南口から乗車(約5分)「県図書館・美術館」下車
 - タクシーで
 - JR岐阜駅または名鉄岐阜駅前から乗車(約10分)
 - 自家用車で
 - 名神高速道路 岐阜羽島ICから県庁方面へ北進 約10km
 - 東海北陸自動車道 岐阜各務原ICから国道21号線を西進 約10km
 - ※無料駐車場有り/車いすをご利用の場合は「美術館おもいやり駐車場」(2台)をご利用ください。

